



やるきほんききさき  
**木佐木**  
 神奈川議会議員  
 日本共産党

2026.7.8  
**木佐木ただまさ news**  
 発行：党横浜北東地区委員会  
 横浜市鶴見区潮田 3-147-6  
 TEL：045-511-1021  
 Profile  
 ▶1984年(41歳)山口県出身  
 ▶鶴見区馬場在住  
 ▶神奈川大学法学部卒  
 ▶よこはま健康友の会会長  
 ▶横浜東民商顧問

## 国際法違反にだんまり。知事の姿勢質す



### 国際法違反の先制攻撃に知事は

6月26日神奈川県議会本会議で、日本共産党の井坂新哉県議が、アメリカとイスラエルによるイランへの先制攻撃に対する県の対応をたどしました。2026年2月の攻撃の際、神奈川県の米海軍横須賀基地から出航した2隻のイージス艦がトマホークミサイルでイランを攻撃していたことが明らかになっています。

井坂議員は「米軍基地を多く抱える神奈川県の知事として黙っているわけにはいかない」と抗議を求めました。しかし、黒岩知事は「米国・イスラエルの行動について、日本政府は国際法上の評価をしていない。両国の行動への評価や抗議などを行うことは差し控えたい」と答弁し、政府の姿勢を踏襲して自らの見解を示そうとしました。

### 再質問で浮き彫りになる知事の姿勢

日米安全保障条約6条の極東条項では、日本の防衛以外の戦闘行動に基地を使用する際、事前協議が必要とされています。政府は「国内の基地から戦闘作戦行動が行われたことはない」との見解ですが、実態との乖離は明白です。井坂議員は再質問に立ち、「率

直に言ってアメリカとイスラエルの攻撃はやむを得ないものだということで容認しているのか」と知事の姿勢を厳しく追及しました。

これに対し黒岩知事は「中東情勢について、県としては評価は差し控えたい」と同じ答弁を繰り返し、最後まで正面から答えませんでした。外交は国が担うものという理由で国への進言すら拒む知事に対し、井坂議員は「この件に関しては、沈黙は容認していることだ。事実をもとに必要な判断をして、ダブルスタンダードにならないように必要な意思表示を」と強く求めました。

### 基地縮小の県是守る

神奈川県には、長年にわたり超党派で堅持してきた「基地の整理縮小及び返還」という重要な県是があります。井坂議員は「こうやって米軍の活動をどんどん広げていくことを認めていけば、まさにこの県是が台無しになってしまう」と、地域の安全が根底から脅かされる危機感を表明しました。軍事に対し軍事で構える「抑止力」の論理は果てしない軍拡競争を招き、住民を危険にさらします。いま必要なのは「戦争の準備」ではなく、憲法9条を生かした外交による「平和の準備」です。

日本共産党は、トランプ米政権に追随する大軍拡やミサイル列島化にストップをかけ、日米地位協定の抜本改定を求めています。県民の皆さんの平穏な暮らしと大切な命を守り抜くため、国へ堂々と意見を言うよう県へ働きかけ、ぶれずに全力を尽くす決意です。

YOUTUBEでも紹介しています⇒

